

ここんぺき

静岡市稲門会
会報 第6号
2018.12.15

2018静岡県稲門祭盛大に開催

恒例の静岡県稲門祭が、6月10日(日)、ホテルアソシア静岡において開催されました。本年は静岡市稲門会が幹事役。当会員の皆様方のご協力により、ご参加の鎌田薫総長をはじめとする早稲田大学関係者、県内各支部、各稲門会の方々から高い評価をいただくことができました。

「早稲田大学地域フォーラム」において、鎌田薫総長は「早稲田大学の目指すもの」と題して、21世紀のグローバル社会における大学の有り方を熱く述べました。



鎌田早大総長

その後静岡市稲門会の会員でもある小和田哲男氏(静岡大学名誉教授・昭和47年院修了)の「今川義元 東海王国の夢」、また国際NGOユニモール創設者の照屋朋子氏(法卒)の「モンゴルから世界へ」と題する講演が行われました。小和田氏は、来年生誕五百年を

迎える今川義元の知られていない真



会場満員の地域フォーラム

実の姿について語ってくれました。



小和田哲男氏

歴史愛好家などが詰めかけ、小和田氏の講演に聴き入り

同フォーラムには、校友の他に本大を目指す高目指す高生や父兄、一般

木遣り会が総長先導

県支部懇親会

大学案内や個別相談会、商議員懇談会等の大学行事や校友会県支部総会も無事終了し、午後6時から、大学関係者、県内各支部・稲門会メンバーなど計230人が参加する大懇親会となりました。

昭和38年卒

の石川禮一郎、大橋幸治郎両氏率いる木遣り会が、総長を先導。華やかに幕開けを飾ってくれました。



↑木遣り一行 ↓応援団リードで校歌斉唱



年文卒)や田辺信宏静岡市長(昭和60年政経卒)が歓迎の挨拶、また



陰山会長



田辺市長

石渡裕子当会副会長(昭和52年教育卒)が、邦楽「春の海」を披露するなど、人材豊富な当会の面目躍如の日でした。最後は「校歌」の全員斉唱で閉会となりました。



お仕事中、おじやまします 校友の職場訪問

政治、経済、教育、文化等様々な分野で活躍する本会会員。その職場を訪問させていただきました。お忙しいところ有難うございました。

関谷法律事務所・弁護士

関谷綾子さん（平4法卒）

ベトナム、ラオス出張から帰国したばかりの関谷さんを事務所にお尋ねしました。県弁護士会が友好協定を結ぶベトナム弁護士会との交流を深めるための事業参加ということです。出張期間分の仕事のやりくりをするため、旅行前はずっと土日返上だったとのことですが、疲れた様子もなく素敵な笑顔で出迎えて下さいました。

◇「キヤプテン翼」でサッカー好きに

静岡のご出身ではない関谷さんですが、静岡の伝馬町に事務所を構えたのは9年前のことです。どうして静岡市を選んだのかと言えば、大好きなサッカーがその要因の一つということに驚きました。

サッカーが大好きで、かの「ジョホールバルの歓喜」も現地スタジアムで2万人のサポーターの一人として参加。W杯初参加という勝利の美酒を味わってきたという筋金入りです。

サッカーは漫画「キヤプテン翼」で触発され、のめりこんだとのこと。現在社会人女子チームでプレーヤーとしても頑張っています。「キヤプテン翼」は、W杯で活躍した世界のトッププレーヤー達が幼少期影響を受けたという漫画ですが、ワセジョと静岡を結びつける役割を果たしていたとは！



サッカーで培った気力と体力で、仕事をバリバリこなします

さて、事務所は来年開設10周年を迎えることになりましたが、その得意分野はスポーツ法務とのこと。スポーツにまつわる事故や契約等に対応します。また新たに弁理士の資格も取得し、特許、実用新案、意匠、商標などの知的財産に関する業務も広げていきます。

新年の抱負は、静岡の役に立つ事務所に成長させることです。

静岡英和女学院

中学校・高等学校 校長

吉田幸一さん（昭54院修了）

吉田幸一さんは2015年から静岡英和女学院中・高校の校長を務められています。昼休みの後、校長室にお邪魔しました。いつも昼食は校長室で何人かの生徒さんたちと一緒にとられているとのことです。

吉田校長は、横浜市の出身で、大学を卒業後、ソニーに入社。人事部、法務部、秘書室などの要職を歴任しました。とりわけ大賀典雄会長には長く仕え、会長の経済界における幅広い活動を支え続けました。

50歳になった時、教育への夢を果たすため、神奈川県教育委員会が募集していた民間出身校長に応募、新たな人生に舵をきりました。

◇転職は奥様も理解

因みにその折の合格率は百人に一人、給料はソニーの時の半分とのことでした。奥様の理解なしでは無理な話ですね。

校長だった祖父の影響や、人事部での社員教育の経験などから、教育の重要性についての認識が高まり、決断に至ったとのこと。

神奈川県での二つの県立高校長、

東京都内の私立中学高校長を経て、静岡に赴任しました。

◇岩崎巖翁が来校

赴任後のことですが、早大卒業生なら誰でも知っている「早稲田の栄光」の作詞者である岩崎巖翁さん（93歳）が同校に激励に訪れてくれたとのこと。清水市出身の岩崎さんとは、横浜の稲門会で知り合ったとのことですが、人と人との繋がりを大切にする吉田さんならではのエピソードですね。



なんと茶道は裏千家終身師範です！

民間企業であるソニーでの経験から、様々な場面で学生達にチャレンジ精神の大切さを伝えていきます。

英和では新たに女性学、英和学などを開講。静岡市との地方創生に向けた連携協定や中学一般入試に英語を導入するなど、新たな教育改革に積極的に取り組んでいます。

2013年には読売教育賞を受賞されています。

趣味の茶道は、サラリーマン時代から続けていて、現在は、裏千家終身師範の免状をいただいています。ストレスは茶道で解消とのことでした。

日本銀行静岡支店支店長

竹内 淳さん(平2政経卒)

3月に甲府から静岡へと赴任した竹内さん。街の活気に驚いたといいます。色々な店が軒を並べ、大道芸を披露する人もいて、散歩が楽しいと感想を漏らしています。

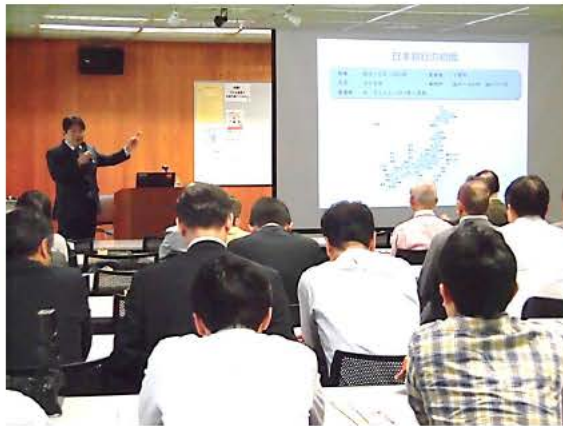
日銀では国際畑が長く、生まれ故郷のドイツには、合計8年間駐在したとのこと。為替課長時代には、円が対ドルで過去最高を記録、巨額の為替介入を指揮したといえます。日本経済研究センターへの出向時代には、BSのニュース番組にレギュラー出演していたという異色の経歴をお持ちです。因みにキャスターは、静岡出身の榎戸教子さんだったそうです。



地域活性化は女性がカギと分析

支店長として竹内さんが力を入れるのが、対外広報活動です。10月下旬に開催した特別講演会では、「私たちの暮らしと日本銀行の役

割」と題して、①お金の役割と日本銀行の仕事、②フィンテックとキャッシュレス社会、③静岡県の構造的変化(人口減少)、など多岐にわたるテーマで熱弁を奮われました。



特別講演会は満員の盛況でした

日本が現金社会なのは、偽札が少ない一方で、ATM網が発達するなど、現金が使いやすいからだと言内さんは解説します。とはいえ、利便性の高まりから、キャッシュレス化は着実に進展していくだろうと予想します。そうした中、個人情報の保護など課題も山積みとの認識を披露しています。

◇女性が活躍できる町へ
人口減少は、県外に転出する人

の多くが若い女性だと分析し、女性を惹きつける街作りや職場環境の改善が不可欠と訴えます。そのためには、女性が活躍し易い都市型の産業を振興することが重要だと説きます。

趣味はカラオケ、ピアノ演奏、ドライブです。当地に来てから、二胡を始めたとも言います。目下の悩みは体重とのこと。静岡は美味しいものばかりで油断大敵と、体重計と睨めっこしているご様子です。

小長井会計事務所 税理士

小長井規行さん(平12理工卒)

事務所は駿河区馬淵にあります。所長はお父上で、規行さんは副所長となります。

理工学部出身で税理士になったのはどうしてという単純な疑問をぶつけてみました。

◇大学3年から税理士目指す

小長井さんは、もともと数学、物理が好きで、理工学部ではオペレーションズ・リサーチを専攻していました。ORとは統計解析のようなもので云々・は、聞き手が理解できませんでしたので省略します。

ともかくも大学3年の時、実家の会計事務所を継ぐことを決心し、

大学とは別に専門学校に通い出しました。卒業後は静岡に戻り仕事をしながら勉強を続け、税理士の資格を取ったとのことです。

数学の知識が税理士の仕事に役立つのではと聞きましたら、あまり関係ないとのこと。愚問のようでした。年末から年度末が繁忙期。そろそろシーズンに入ってきているようですが、快く取材の時間をとってくれました。大変大らかな性格とお見受けしました。



スリムな体型はまさかサウナ効果？

趣味はスノーボードで、一時は熱中し毎週のように、白馬や苗場などのスキー場へ行っていたこともありましたが、最近は少々熱も冷めてきたようです。上のお子さんがスキーを始め、一緒にスキーを楽しむようになりました。

また時々、お子さんとサウナに行くのがリフレッシュに大いに役立っているとのこと。お子さんもサウナ大好きと言いますから、仲良し親子ぶりが覗えます。

OB・OG通信

新年は週3回ジムに!

赤澤真理乃さん(平28人間科学卒)

県の職員で、心理職として子供に関わる仕事に携わっています。いま関心のあること、熱中していることは、ホットヨガ、ピラティス、野球、ソフトボールなど身体を動かすことです。2019年は週3回はジムに行きたいと思っています。



勿論、食べることも大好きです。ジムへ行くとお腹も空きますから。

稲門会では、色々な分野で活躍されている方々と知り合えることが楽しみです。来年も多くの人と知り合い、お話しできればと思っています。

仲間と城めぐり

内田知志さん(昭46文卒)

テレビ静岡では主として経理畑を歩んできました。その関係から現在ボランティアで静岡間税会の会長を務めています。(勿論静岡市稲門会の会計もです)

退職後は趣味であちこちの山城巡りなどを行っています。古城研究会にも入り、多くの山城マニアの方々と知り合うことができました。わずかに残った土塁や、埋もれた堀切など見つけると心が躍ります。



岩も含めれば山城の数は無限。楽しみは尽きません。

家内も歩くのが好きなので、一緒に出掛けることも多く、夫婦の健康維持や関係修復(?)にも役立っています。この秋は二人で岐阜の岩村城、長野の上田城や小諸城に行き、深まりゆく秋を堪能してきました。

◇早慶麻雀大会は早大優勝

9月14日(金) 麻雀荘駅南で開催されました。個人戦では三田会

の神谷達雄さんが優勝。チーム戦は団結力発揮の早稲田に軍配!

◇早慶ゴルフは三田会に譲る

10月28日(日)菊川CCで開催。優勝は三田会。個人戦は三田会の

藤堂洲男氏がネット73で優勝。

◇稲門会人事 9月3日の当会役員

会において、陰山会長より吉田昌弘氏、市川裕宣氏両名が副会長に任命されました。来年度以降の県支部事務業務拡大に伴う人事です。

第二回大学野球オータムフレッシュリーグ in 静岡 開幕

早稲田大学など大学8校、地元高校6校が出場。当会が支援

初めての試みである大学野球若手チームと地元高校が参加する「オータムフレッシュリーグ」が、11月23日

〜25日の3日間、草薙球場など県内3会場で開催されました。

実行委員会が主催、静岡市の共催で、当会も協力団体となりました。大学は早稲田、慶応など名門8校、高校は、静岡、東海大翔洋など地元強豪6校が参加しました。

23日の始球式は田辺静岡市長。大会は好天に恵まれ、会場は終日、各



大学、高校のOBや地元の野球ファンで賑わいました。

写真は、会場に駆け付けた

(右から)市川

副会長、陰山

会長、内田会

計の3人。応援

援空しく早大

は全敗。来年

に繋げてもら

いましょう。



来年も楽しく交流!

静岡市稲門会新年会

平成31年2月8日(金)午後6時半から静岡駅前のグランディエールで開催します。竹内日銀静岡支店長の特別講演もあります。同伴大歓迎です。別紙案内状に従いお申込み下さい。